

令和4年12月7日（水）実施



①栗原造園

無農薬のオーガニックガーデン、枯れ葉や枝などを焼却処分せずに自然分解するバイオネスト※など、環境に配慮した庭づくりの見学。

※大きい鳥の巣のような形をした自然物で作るコンポストの様なもの



②S様邸（綾部工務店／栗原造園）

「家屋」は国土交通省による支援事業であるサステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）に採択された、伝統的な建築技術を活用し、環境負荷にも配慮した建築である。

家屋と庭の関係性としては、石場建てにより建物の基礎を減らして床下と庭と一体化することで、雨水の適切な浸透と蒸散により土中環境の健全化を促している。



「庭園」には浄化浸透抗（大穴）を掘り、通気浸透が永続的に機能するように石を用いて埋設し、その上に植樹をするなどの造作をすることにより、かねてよりの懸念であった水はけの悪い土地を改良した。

その他、木組みのジャングルジム「くむんだー」を体験した。



③喜多町 弁天横丁

時間の都合上、バスの車内から弁天横丁の古民家・店舗のリノベーション等再生事業について説明を受ける。

④小江戸 南古谷農園

農薬、除草薬だけでなく、化学肥料も一切使用せずに黒米や真菰（マコモ）を育てている。

近年は冬期に田んぼを耕すことや稲の生育期に水量調整をすること等で、雑草が生えてこない田んぼづくりを実施している。また、肥料を一切与えなくても一本植えて十分な量を収穫できている。このような自然農法を実施することにより、今まで見ることのなかったエビを発見するなど生物多様性に富んだ田んぼとなっている。今後の目標として、農家や家庭菜園を営む人、近隣住民等が集い、農作物の販売やコミュニケーションが取れる居場所を作ることを目指している。



⑤三ツ又沼ビオトープ

散策しながら植物や動物について説明を受ける。かわごえ環境ネットが川越市内全域で生きもの調査を実施した結果を上回るほどの動植物の種がこのエリアのみで報告（荒川上流河川事務所が調査）されているとのこと。

2メートルほどの高さにある木の枝に浴槽が引っ掛かっており、数年前の水害の際に流れ着いたものであると推測され、自然の驚異を思い知らされることとなった。

エコツアー行き先

①有限会社栗原造園

②S様宅

(個人宅のため場所は非公開)

③喜多町 弁天横丁

④小江戸 南古谷農園

⑤三ツ又沼ビオトープ

